

進学し〜だ

中学受験

わが子にぴったりの中高一貫校を見つける!

中学受験

男子校 女子校 宗教校の

2021年
6&7月号
vol.3

知られざる
魅力

男子校・女子校はこんなに楽しい!

☞ 成城×武蔵 OB対談

☞ マンガ 実録 男子校・女子校生活 …ほか

宗教校はこんなにすごい!

清泉女学院の倫理／
捜真女学校の国際理解教育／
桜美林の英語／
白百合学園の音楽／
淑徳与野の人間教育 …ほか



学校選びに!

特別とじこみ

学校まとめシート



中高一貫校レポート

筑波大学附属

MIKUNI

中学受験



©2013 MIKUNI Publishing Co., Ltd.

男子校・女子校・ 宗教校の 知られざる魅力

010 志望校の「条件」ってなに？

012 学校選びの基本

015 男子校・女子校はこんなに楽しい！

016 男子校OB対談 男子校、たのしいよ！

020 卒業生が語る 実録・男子校生活！

022 卒業生アンケート やっぱりたのしい男子校

024 卒業生が語る 実録・女子校生活！

026 卒業生アンケート やっぱり大好き女子校

029 宗教校はこんなにすごい！

030 宗教校だからこそその倫理 清泉女学院

032 宗教校の倫理はなぜすごい？

034 宗教校だからこそその国際理解教育 捜真女学校

036 宗教校の国際理解教育はなぜすごい？

038 宗教校だからこそその英語（外国語） 桜美林

040 宗教校の英語（外国語）はなぜすごい？

042 宗教校だからこそその音楽 白百合学園

044 宗教校の音楽はなぜすごい？

046 宗教校だからこそその人間教育 淑徳与野

048 宗教校の人間教育はなぜすごい？

050 卒業生アンケート やっぱりすてき宗教校

特別
とじこみ

学校まとめシート

【連載】

中高一貫校
レポート

052 筑波大学附属

【連載】

060 2022年中学入試トピック《首都圏編》	078 親と子の合格ナビ
064 いまどきの中学・高校受験事情 安田理	084 日能研の教室から
066 知っておくべき大学の話 安田賢治	085 中学受験の基礎用語
068 世界の中で小さな声を聞く 吉野明[大妻多摩・鷗友学園女子]	086 CLUBリーダー
070 子どもの未来の紡ぎ方 水口洋[玉川聖学院]	088 読者プレゼント
072 いまにつながる物語 佐藤透[桐蔭学園]	097 学校行事スケジュール
074 素材文で読む中学入試 犬伏守	110 バックナンバー
075 トンデモ都道府県 田中六大	112 販売書店一覧
076 塾に行かず慶應義塾大に行く！	131 次号予告
	プレゼント&アンケート(とじこみはがき)

【主な紹介校】

あ	
桜美林	38
さ	
淑徳与野	46
白百合学園	42
清泉女学院	30
捜真女学校	34
た	
筑波大学附属	52

※連載は一部休載しております。

発行人 福村 徹
編集長 井上 修
副編集長 吉住桂子
特集担当 伊藤加奈子

編集スタッフ
大吉明佳／小平百恵
クドー工房(工藤 実／栗原美奈)

広告担当
藤田敦子／西野隆司

編集協力
日能研
〒222-8511
横浜市港北区新横浜2-13-12
☎045-473-2311(代表)
日能研関西
〒650-0033
神戸市中央区江戸町94-2
☎078-321-5050

表紙デザイン
長田年伸

本文デザイン
志岐デザイン事務所
(古屋真樹／室田敏江)
米山菜津子

DTP
サン・ブレン
志岐デザイン事務所

印刷
サンエー印刷
営業部 ☎03-3989-8725

編集・発行
株式会社みくに出版
〒150-0021
東京都渋谷区恵比寿西2-3-14
営業部 ☎03-3770-6930
編集部 ☎03-3770-6933
(ホームページアドレス)
<http://www.mikuni-webshop.com>

◎本誌掲載記事の
無断転用・転載を禁じます。



この印刷物は、地産地消・輸
送マイレージに配慮した米ぬ
か油を使用した「ライスイン
キ」を採用しています。

進学リーダー最新号の
情報などは
みくに出版Web Shopへ



中学受験

男子校・女子校・ 宗教校の 知られざる魅力



そろそろ1学期も折り返し地点。この時期からは学校説明会などの開催も増え、志望校のしぼり込みが本格化していきます。思うように学校を訪問できない状況もまだありますが、限られた機会を逃さず、オンラインも活用して学校のことを知っていきましょう。

今号では、まずは学校選びの基本をおさらい。そして、私学ならではの魅力にあふれる男子校、女子校、宗教校についてたっぷりをご紹介します。

卒業生から学校の魅力を教えてもらう「男子校・女子校はこんなに楽しい!」、そして各校へのインタビューから宗教校の教育の底力に迫る「宗教校はこんなにすごい!」の2部構成です。

C O N T E N T S

●志望校の「条件」ってなに?…P10

●学校選びの基本…P12

学校訪問・行事参加時の
チェックポイント…P13

個別相談での質問例…P14

特別とじこみ
「学校まとめシート」

男子校・女子校は
こんなに楽しい!
…P15

宗教校は
こんなにすごい!
…P29

では、
志望校は
どうやって
選べばいい
の？



偏差値は特定の母集団の中の受験生の位置や合格可能性の指標です。同じ学校でも入試日ごとに偏差値が大きく異なることがあったり、他校の入試の変更や志望者数の増減でも変わったりするもの。「偏差値〇以上」を条件とするのはあまり意味がありません。

また、東京大学をはじめとする難関大学への合格者数は、多くの卒業生が進んだ進路のうちの、ある一部分にすぎません。進路指導では、生徒一人ひとりが自分の目指す進路を見つけ出し希望の進路に進んだかが大切。難関大学への合格者数などの大学合格実績はひとつの目安ではあっても条件にはならないのです。

では、学校選びにおいてわが家のこだわりの「条件」はどのような決めればよいのでしょうか。

それには「6年間どのような学校生活を送りたいか」をイメージすることが重要です。たとえば、生徒会や行事の実行委員会に参加して学校を盛り上げたいのならば、生徒の自治が活発な学校。英語の勉強をがんばりたいのならば、英

語教育が充実している学校や海外研修プログラムの豊富な学校。少人数で家族のように仲の良いクラスで過ごしたいのならば、小規模の学校……など。定めるべき条件は、一人ひとりが思い描く憧れの学校生活や、目指したい将来像から導き出されるものなのです。

今号の特集では、男子校、女子校、宗教校の魅力詳しく紹介します。「男子校・女子校か、共学校か」「宗教校か、無宗教校か」。これらの選択は「どのような学校生活を送ることができるか」に大きく関わるものであり、志望校を検討する際の「条件」としても重要な項目です。しかし、男子校、女子校、宗教校に馴染みのない人が多いためか、最初から選ばないことを決めてしまっているケースも少なくないようです。けれど、せっかく中学受験をして、男子校・女子校、宗教校を選択することもできるのに、最初から除外してしまうのはもったいないことです。

男子と女子では精神的にも身体的にも成長期に差があり、一般的には女子のほうが早く心身ともに

大人に近づくと言われていきます。また、学習面においても、より理解しやすい教材の形や授業づくりにも男女差があると考えられています。人間関係の築き方も、同性だけの環境と異性もいる環境とでは大きく変わってきます。どちらが居心地がいいか、どちらがよりその生徒の力を伸ばせるのかは相性による部分が大きいです。

宗教校は「信者ではないから入学できないのではないか。信仰を求められるのではないか」などの不安を抱かれ敬遠されがちです。しかし、入学しても信仰する必要はありませんし、信者でないから学校になじめないということもありません。宗教校にとつての宗教は、学校の理念の根幹にあり、人を育てる豊かな土壌となりながら、あくまでそつと生徒たちによりそふものなのです。

今回の特集では、「男子校・女子校ならではの楽しさ」「宗教校だからこその教育のすごさ」をたっぷり紹介します。男子校、女子校、宗教校のこれまで知らなかった魅力をぜひ発見してください。

志望校の「条件」ってなに？

学校選びにこんな「条件」つけてしまっていないですか？

東大の合格
〇人以上の学校
じゃないと
私学に通う
意味がない

入試の
偏差値〇以上の
学校しか
受けない



しかし、

これらを「条件」としてしまうことは
中学受験の失敗に
つながりかねない
落とし穴！





男子校・ 女子校は こんなに楽しい!

「異性の目を気にしなくていいのでありのままの自分で過ごせた」。非常に多くの男子校・女子校出身者が異口同音に語る言葉です。男だけ、女だけの学校生活はとにかくラクで最高に楽しい! 男子校・女子校に通った人だけが経験できるその楽しさと魅力を卒業生から教えてもらいましょう。

CONTENTS

成城×武蔵

男子校OB対談

男子校、たのしいよ! ……p16

マンガ

実録・男子校生活! ……p20

卒業生アンケート

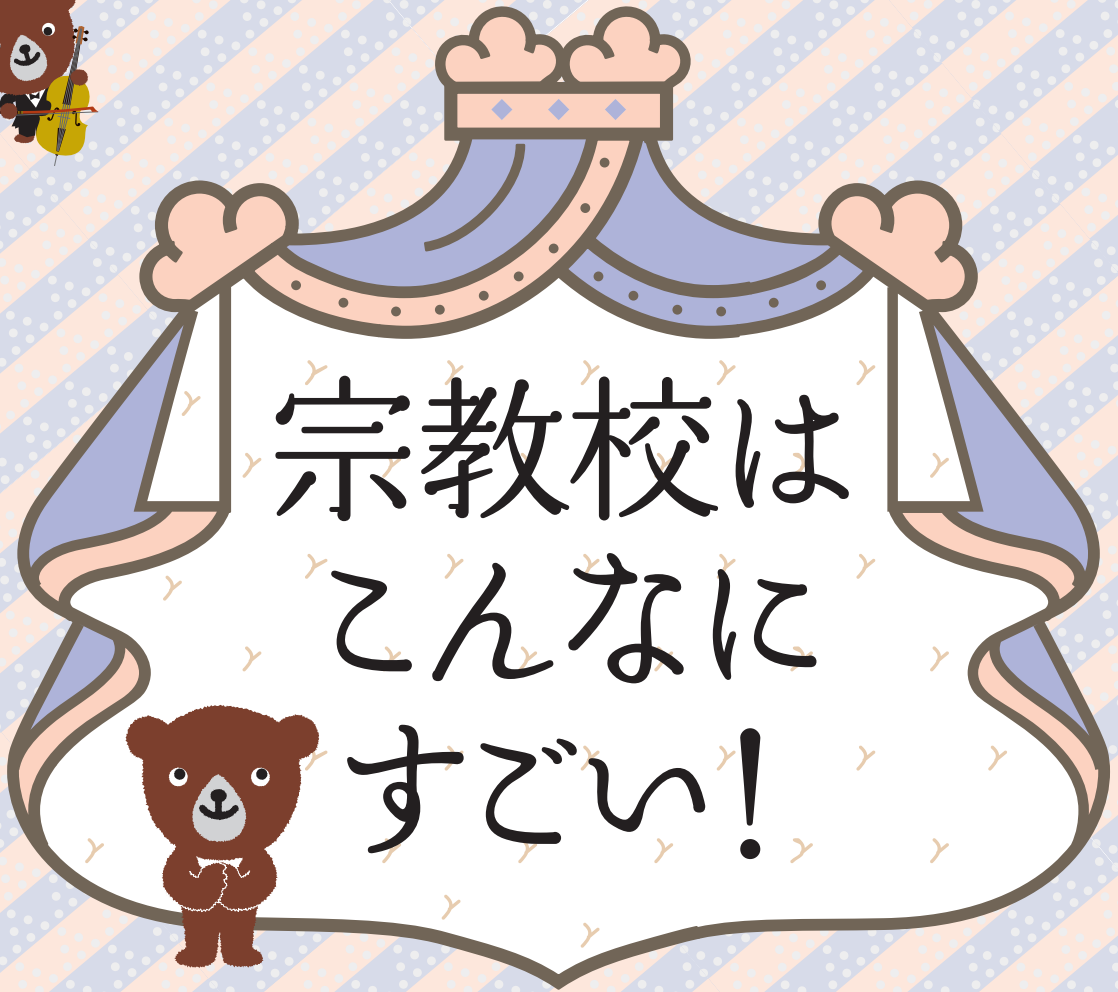
やっぱりたのしい男子校 ……p22

マンガ

実録・女子校生活! ……p24

卒業生アンケート

やっぱり大好き女子校 ……p26



宗教校と宗教のない学校とで学校生活にそれほど大きな違いはありません。しかし、日々の礼拝など宗教が身近にある学校生活を通じて異文化への理解が深まったり、宗教を学ぶことで社会の諸問題とその背景への理解が深まったりするなど、「宗教があるからこそ育まれる豊かな土壌がある」ということは言えるでしょう。各校へのインタビューで、宗教校ならではの教育の深みをご紹介します。

CONTENTS

宗教校だからこそ**倫理**

interview **清泉女学院**……p30

宗教校の倫理はなぜすごいのか？……p32

宗教校だからこそ**国際理解教育**

interview **捜真女学校**……p34

宗教校の国際理解教育はなぜすごいのか？……p36

宗教校だからこそ**英語(外国語)**

interview **桜美林**……p38

宗教校の英語(外国語)はなぜすごいのか？……p40

宗教校だからこそ**音楽**

interview **白百合学園**……p42

宗教校の音楽はなぜすごいのか？……p44

宗教校だからこそ**人間教育**

interview **淑徳与野**……p46

宗教校の人間教育はなぜすごいのか？……p48

卒業生アンケート

やっぱりすてき**宗教校**……p50



中3の授業ではグループで愛に関する名言を調べ、ポスターに。できあがったら廊下に掲示



たくましく生きる子ども達をオムニバス形式で描いた「それでも生きる子供たちへ」など、映画を見て、生徒達が感想を述べたり、分析したりしています。貧困問題がテーマの映画を観た次の授業では貿易ゲームを行うこともあります。「前回の授業では、貧しい国の子ども達をかわいそうだと思ったのに、ひとたび貿易ゲームをやると今度は自分の利益追求に目がいつ

てしまう。生徒達はそんなことに気づいていきます」(吉岡先生)

ハラル認証の献立でイスラムの少女をおもてなし

2020年は、横浜市内在住のイスラム教徒の方に協力を依頼し「イスラムの少女を日本でおもてなしする」方法を考え、スライドを制作しました。ハラル認証の食材を販売している会社を調べ、それらを使って料理を作ったり、お土産を考えたりします。「日本の伝統的な家庭料理をふるまいたい」と炊き込みご飯の献立を考えたグループもありました。もちろん食材や、出汁、調味料すべてハラル認証を得たものを使います。イスラム教の方にスライドを採点してもらったところ、お土産についてはあるクラスでは「着物で作ったヘジャブ」を考えたグループが1位になりました。先方からも「こういう試みが多文化共生につながります」と、喜ばれたそうです。

高校では、さらに外の世界へ目を向けて考えを深めます。哲学者や世界の宗教について学ぶほか、

ジェンダー論、環境問題、臓器移植など複雑で難しい問題にも取り組みます。生徒達は正解のない問いを、いろいろな本を読んだり、ネットで調べたり、生徒同士で話し合ったりして考えていきます。

倫理で学んだことが小論文や英語の文章に出てくるなど、他の科目とも繋がっています。

「今年度は国語科の先生とコラボして授業をすることを予定するなど、科目横断的な試みも考えています。倫理は受験科目としてとらえると狭くなってしまうのですが、実はいろいろな教科のハブになれる科目だと思います」(小野先生)

生徒にアンケートをとると「友達との意見の違いが刺激的だった」「知らないことをいろいろ知ることができて面白かった」「生きる上で役に立った」などの声が寄せられるそうです。

「募金に立ったあとは、自分で募金をして帰るなど、何かに気づいたら自分でさらに一歩アクションを起こす。そんな生徒が多いですね」(吉岡先生)

5年前から清泉女学院の呼びか



清泉女学院

国際的なスペイン系のカトリック修道会・聖心侍女修道会を設立母体とし、1947年に開校。モットーは「神の みに 清く 正しく 愛ふかく」で、世界の姉妹校と共有している。本物に触れる教育が伝統で、倫理でも学内にとどまらず学外での活動も盛ん。

宗教校だからこそ

倫理

清泉女学院 (神奈川県鎌倉市・女子校)

清泉女学院の倫理は教育の柱であり「人間が幸せになるための科目」といいます。話し合ったり調べたりしながら、生徒自身でとことん考えるという倫理の授業について、倫理科の先生2人に伺いました。

「自分・他者・世界とのつながり」
様々な活動を通して深く掘り下げる

グループワークで「愛」について話し合う

「ねえ、これはどう？」
「あつ、それいい言葉だね」

中3倫理の授業は倫理科主任の吉岡誠先生と、倫理科の小野浩司先生がチームティーチングで行います。ノートパソコンを覗き込みながら生徒達が検索しているのは「愛」についての古今東西の名言。清泉女学院には、世界中の姉妹校が共通して大切にしている「10の価値」があり、「愛」を中心に「生命の尊重」「無償性」などがあげられています。授業の狙いを小野先生は次のように話します。

「キリスト教は、隣人愛と言われる宗教です。中3の年間テーマは『隣人を自分のように愛しなさい』。隣人とは誰か、愛するとはどういうことか。本校の理念のひとつにもなっている愛について、生徒と一緒に考えていきます」

愛の名言は、作品からの引用や台詞はNG。グループで話し合い2〜3つに絞ったら、その名言をポスターにします。生徒が探し出してきたのは、『愛の反対は憎しみではなく無関心です』(マザー・テレサ)、『愛は敵を友人に変えられる唯一の力である』(キング牧師)など、珠玉のような名言です。

中1から高2までは週1時間、高3は1・5時間、倫理の授業がカリキュラムに組み込まれています。6年間を通した、授業の大きなテーマは「自分・他者・世界とのつながり」。中学生は主にキリスト教を元に、高校生は社会科の倫理の教科書を中心に学びます。ただし、先生が生徒に一方的に教える授業ではありません。先生がいろいろなきっかけを投げかけ、そこからグループや個人で考えていく展開になります。

「倫理の授業という点、堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、

そんなことはありません。内容はきちんと伝えますが、キリスト教に親しみを感じて自然と聖書を開きたくなる、そんな授業をめざしています」(小野先生)

この日も吉岡先生が「今日の授業を組み立てるために、小野先生と髪の毛を引っ張ってケンカしながら議論したんだよ」と、生徒を笑わせます。2人とも坊主頭で引っ張る髪の毛はありません。生徒もよく似た二人の先生に「先生が分裂している」と合いの手を入れ、教室を湧かせます。

考えるヒントに、授業では時々映画を視聴します。たとえばナチスの強制収容所に送られたユダヤ人家族を描いた「ライフ・イズ・ビューティフル」、過酷な状況の中で



倫理科主任・吉岡誠先生(右)
倫理科・小野浩司先生(左)